

藍染め竹うちわ制作講座



2026
7月5日 日

午前の部 午後の部
10:00~12:00 13:30~15:30

●お申込み受付開始日
令和8年6月15日(月) 9:30~

- 講師 丸亀竹うちわ夢風
河野竹克、吉川敏喜、妻産美智子
- 定員 各回とも12名(先着順)
- 受講料 3,000円(入館料を含む)

●お申込み方法

ご住所、氏名、電話番号、人数、午前か午後かを
阿波十郎兵衛屋敷まで電話、FAXまたはホームページ
のお問合せフォームよりメールでお知らせください。
定員に達した時点で締め切らせていただきます。

■会場・お申込み

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮崎本番 184

Tel.088-665-2202
Fax.088-665-3683
<http://joruri.info/jurobe/>



講座内容

徳島と香川の手仕事のコラボによるうちわの制作体験

- ①うちわの骨と藍染め和紙を選ぶ。
- ②貼立(はりたて)／和紙を貼って乾燥させる。
- ③実演と解説／うちわの制作工程
- ④型切り／鎌を当て木槌で叩いて骨と和紙を切り落とす。
- ⑤へり取り／うちわの周囲に「へり紙」を貼る。
- ⑥耳貼り／うちわの両側に飾りの耳紙を貼る。

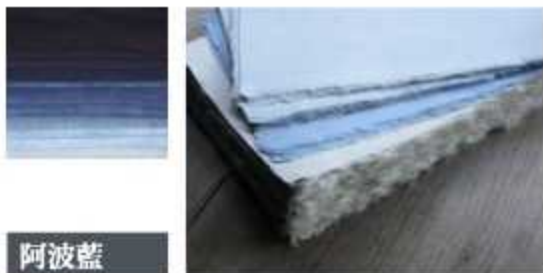


丸亀うちわ

丸亀は、年間1億本以上のうちわを生産し、国内シェア9割を占める日本一の産地です。うちわで最も重要なのは、骨のしなり具合と、扇いだ時の感触。国産の竹を細かく削いた骨を使い、優しくやわらかな風のうちわを作ります。

阿波和紙

江戸時代には、阿波藩の藩札や奉書、仙画紙などの御用紙の他、藍染和紙により全国にその名が知られました。最盛期には古野川流域で500戸が和紙を漉いていましたが、現在は古野川市の阿波和紙伝統産業会館において、伝統を守り続けられています。



阿波藍

徳島は、日本一の藍染めの染料の産地です。徳島では、日本の三大暴れ川と呼ばれた古野川が洪水とともに運んだ肥沃な土で、全国で最も品質の良い藍をつくることができましたのです。

うちわの形

今回は、阿波藍で染めた阿波和紙の雲柄紙を使い、「小万月」と呼ばれる形のうちわを作っています。



阿波人形浄瑠璃定期公演

阿波人形浄瑠璃の公演や展示室も、ご鑑賞ください。
【公演時間】11:00、14:00
【演目】「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

